

前年同月比約9倍に ふるさと納税寄附額の実績報告

米の価格高騰によってふるさと納税での需要が高まる中で、自治体の中には米の返礼品を取りやめるところもありましたが、見附市は市内事業者・農家の協力のもと、米の在庫を確保できたことにより、主要返礼品である米の寄附が伸びたことで、寄附額全体も昨年と比べ増額しています。

これにともない、現状と今後の見込みを踏まえ、令和7年度寄附額を10億円と見込み、歳入予算及び必要な経費を歳出予算として9月補正予算案に計上します。

1. 実績（令和7年4月～7月）

	R6	R7	対昨年
寄附金額	34,750,000 円	304,878,000 円	8.8 倍
寄附件数	2,233 件	16,258 件	7.28 倍

2. ジャンル別実績（令和7年4月～7月）

	ジャンル	金額	割合 (%)
1 位	米	297,508,400 円	97.6%
2 位	ジュエリー	4,088,000 円	1.3%
3 位	体験	660,000 円	0.2%
4 位	お菓子	601,500 円	0.2%
5 位	食品	495,000 円	0.2%
6 位	ニット・織物	415,000 円	0.1%
7 位	魚介類	361,000 円	0.1%

※ 米の寄附増加に伴い、米以外の返礼品も前年同期比で寄附額も増加

米以外の寄附額 R6 年度：2,909,000 円 → R7 年度：7,352,500 円

3. 寄附額増額へ向けた今年度の取組み

（1）市場性を見込んだ返礼品開発

ふるさと納税の市場が大きい商品や、今後の需要が見込めるものをピックアップし、対応できる技術や生産力のある事業者と連携していきます。

- ・【継続】米：新規事業者と米在庫の確保、市場性のある寄附額設定、常に検索上位に表示されるための取組み等を実施
- ・【新規】ジュエリー：高価格帯の返礼品に需要があるため、金やプラチナ、ダイヤモンド等の素材を使った返礼品を開発し、7月から募集を開始
- ・【新規】魚：市場に合わせた容量、需要のある魚を入れたセット内容の見直しを7月に実施
- ・【新規】弁当、総菜：冷凍宅配弁当の需要が見込まれることから、冷凍の技術をもつ事業者との新規返礼品を開発

（2）新規ポータルサイトの導入

ポータルサイト「JAL ふるさと納税」でも8月から寄付受付を開始しました。高品質な返礼品を求める利用者が多い傾向があり、見附の米やニット、ジュエリーなどをPRしていきます。

4. 9月補正予算案

- ・歳入補正予算額：500,000 千円
(令和7年度想定寄附額1,000,000 千円－当初予算額500,000 千円)
- ・歳出補正予算額：324,907 千円
(返礼品代、ポータルサイト使用料、委託料等)